

貴重品運搬警備業務（１級）実技訓練運用マニュアル No.2

科目	○ 運搬中における周囲の見張り	使用器材	VTR放映セット （モニター、デッキ又はプロジェクターセット）・・・・・・・・・・1セット 訓練用映像 DVD・・・・・・・・・・1本 訓練用答案用紙・・・・・・・・・・40枚
実施訓練細目	○ VTR映像等による警察官に停止を命ぜられた場合の周囲の警戒要領	実施場所	屋 内
		時間配分	40分
		受講者数	40名
教本参照ページ		講師（補助員）	責任講師—1名、講師—4名
内 容			
訓練目的	本実技訓練は、VTRの放映により受講者の臨場感を高め、貴重品運搬警備業務中に警察官に停止を命ぜられた場合の停車位置の選定要領、警察官の身分の確認要領、停車理由の確認要領等の正しい対応又は警戒要領をまとめた映像を見ながら、警備員が取るべき措置について習得させる。		
状況設定	1 本訓練は、受講者全員が集合できる学科教室等を使用して行う。 2 訓練会場の設営は、会場の広さ等を勘案して行う。例を示すと下図のとおりである。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>(例1)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(例2)</p> </div> </div>		

	<p>※事前に映像、音声等に不備がないか確認する。</p> <p>※受講者全員に映像が見えるように配慮する。</p> <p>※プロジェクター使用の場合は、映し出す映像の高低に留意する。</p> <p>3 訓練用DVDを準備し、DVDの頭出しをしておく。</p> <p>4 講師陣の役割は、次のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 40px;">責任講師－訓練全般の運営及び指導</p> <p style="padding-left: 40px;">講師等 －V T R操作及び責任講師補助</p>
<p>実施要領</p>	<p>1 責任講師は、受講者を教室に集合させ、「駐車場所及び運行中における周囲の警戒要領」の訓練を実施する。</p> <p style="padding-left: 40px;">＜時間配分＞ 40分（内訳：解説・指導 25分（訓練用V T R中の模範映像 - 放映時間 7分）、演習問題 15分（訓練用V T R中の演習映像 - 放映時間 3分））</p> <p>2 責任講師は、以下の説明を行い、訓練用V T R中の模範映像を放映する。</p> <p style="padding-left: 40px;">「今から放映する映像は、貴重品を運搬中の警備輸送車両が、警察官に停車を命ぜられた場合の一連の映像である。この映像を見ながら、警備員が取るべき正しい対応方法又は警戒要領について習得する訓練を行う。」</p> <p>3 責任講師は、模範映像の放映に合わせて説明を加えながら、受講者に警察官への正しい対応方法又は警戒要領等を習得させる。</p> <p>4 責任講師は、訓練用答案用紙を受講者に配布し、試験の実施要領を説明、その後に訓練用V T R中の演習映像を放映し、解答させる。</p> <p style="padding-left: 40px;">号令：「答案用紙にゼッケン番号と氏名を記入しなさい。」</p> <p style="padding-left: 40px;">全員の記入が終了後</p> <p style="padding-left: 40px;">「只今から警察官に停車を命じられた場合の周囲の警戒要領の実技訓練を実施する。」</p> <p style="padding-left: 40px;">「映像を見ながら、警備員の対応又は警戒要領が『正しい』か『誤り』かを判定し、どちらかのチェックボックスにチェックマークを記入しなさい。ただし、各場面、全て異なる内容の警備員の対応又は警戒要領について問うものとする。それでは映像を放映する。」</p> <p style="padding-left: 40px;">最終場面のタイマー10秒経過後</p> <p style="padding-left: 40px;">「やめ。」</p> <p>5 責任講師は、受講者を指名するなどして、また必要に応じ演習問題に係るV T Rを再度放映して内容を確認しつつ、解答と解説を行う。</p>

	<p>6 責任講師は、もう一度模範映像を放映して、受講者に警戒要領及び不審事項についての措置要領等を再認識させる。</p> <p>7 責任講師は、最後に全体の注意指導を行い、本訓練は終了とする。</p>
<p>指 導 の ポ イ ン ト</p>	<p>1 警察官に停車を命じられたときは、交通状況を確認して、安全を確保できる場所に停車することを指導したか。</p> <p>2 警察官が近寄ってきたとき、会話をする際の窓の開放は、必要最小限度にとどめる。また、警察官に停車を求められた場合は警察手帳の提示を求めることを指導したか。</p> <p>3 警察手帳は外観だけでなく、身分証明書も必ず確認することについて指導したか。</p> <p>4 警察官に停車を求められたら、必ず基地局に連絡することについて指導したか。</p> <p>5 警察官の停止命令による停車中の旨の基地局連絡後に、あらためて、停車を命じられた理由を警察官に確認することについて指導したか。</p> <p>6 警察官に協力を求められたときは、適切な言動で積極的に協力することについて指導したか。</p> <p>7 停車を求められた理由を基地局に連絡するとともに、金庫室検索依頼があったので、この場合、基地局の許可を受けることについて指導したか。</p> <p>8 基地局からの金庫室検索許可後、金庫室を開放するため下車するときは、警察官が立会いであっても、下車時に周囲の警戒を怠らないことについて指導したか。</p> <p>9 金庫室を開放するときは、警備員全員で下車し、連携を取りながら警戒を行うことについて指導したか。</p> <p>10 警察官の検索中であっても、警戒を継続することについて指導したか。</p>